

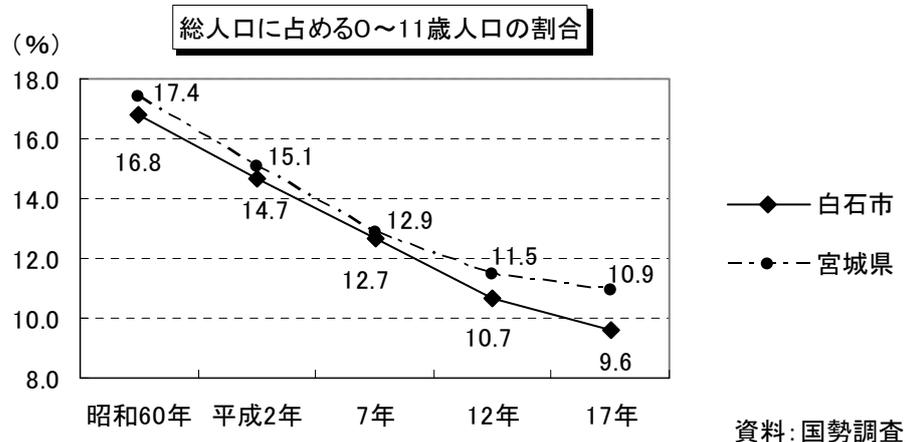
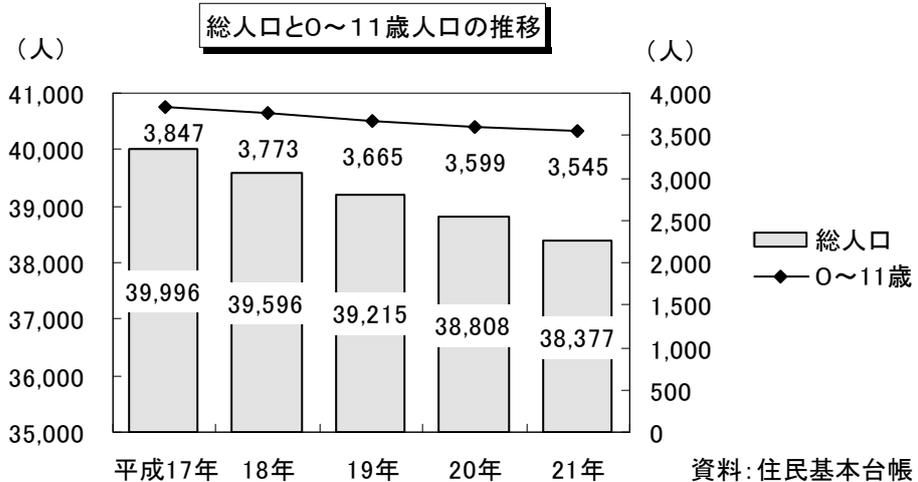
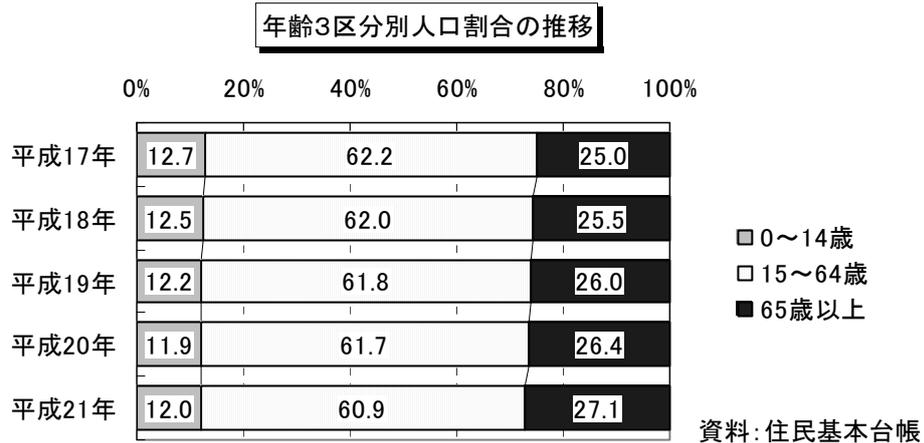
第2章 子どもを取り巻く現状

1. 人口及び児童人口などの推移

(1) 人口、世帯数の推移

本市の年齢3区分別人口割合の推移をみると、0～14歳人口割合の減少と65歳以上人口割合の増加が顕著であり、少子高齢化が進行していることがうかがえます。

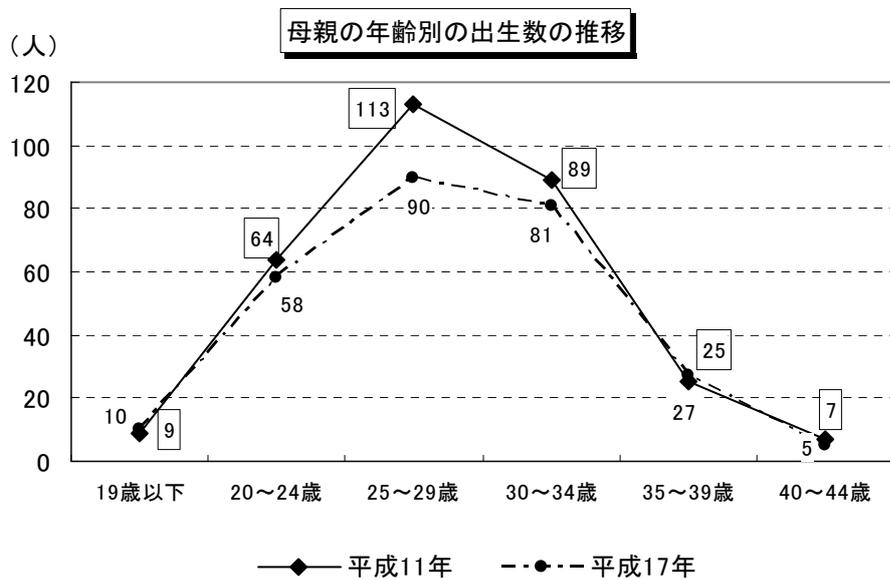
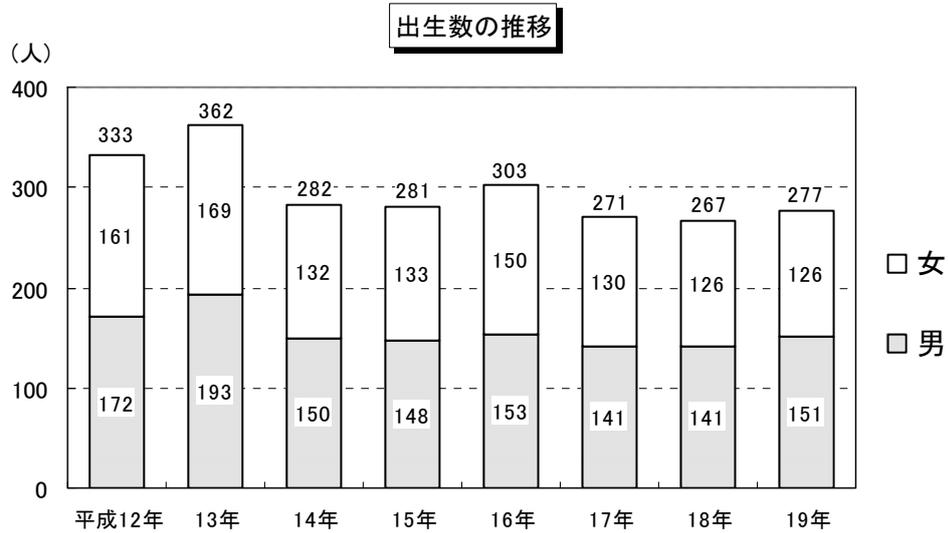
また、0～11歳人口の推移をみると、総人口と同様に減少傾向にあり、総人口に占める割合は県平均を下回って推移しています。



(2) 出生数の状況

本市の出生数をみると、近年は概ね横ばいで推移していますが、平成12年、13年と比べると300人を下回り、減少しています。

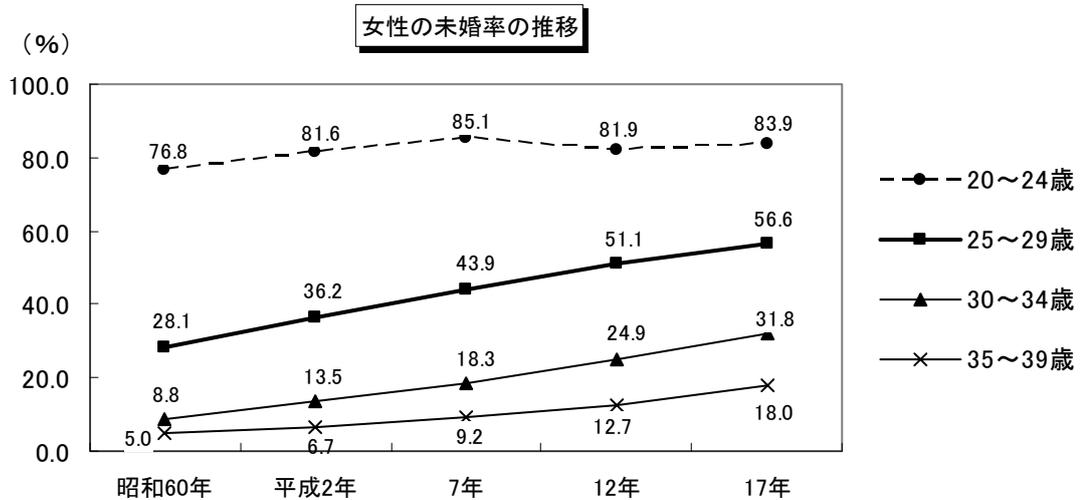
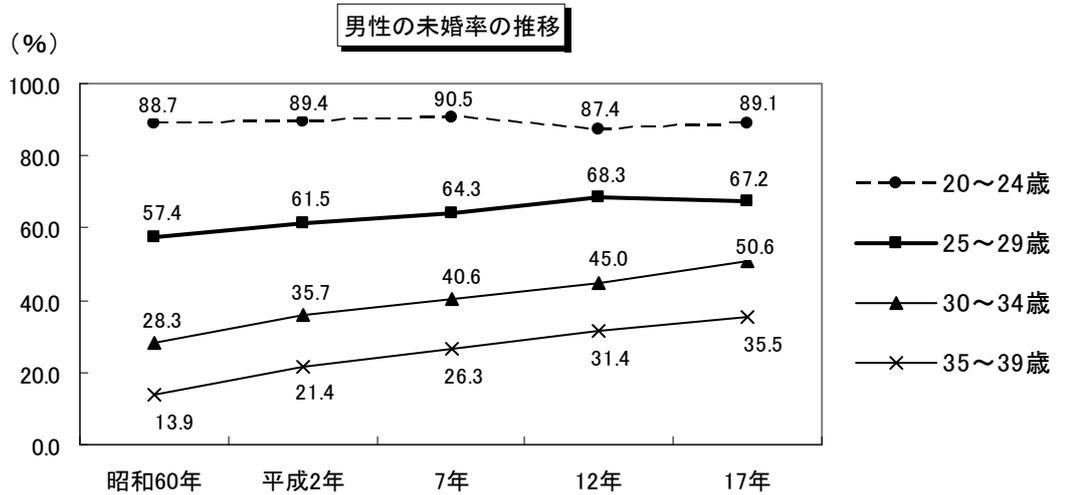
また、平成11年と17年の母親の年齢別の出生数をみると、「25～29歳」の出生数の減少が最も大きくなっています。



資料：人口動態統計(宮城県)

(3) 未婚率の推移

一般に結婚、出産適齢期とされる20歳～39歳の未婚率の推移をみると、男女共に上昇傾向にあり、昭和60年と平成17年の未婚率を比較すると、女性の25～29歳（29ポイント上昇）、男性の30～34歳（22ポイント上昇）の上昇が顕著となっています。

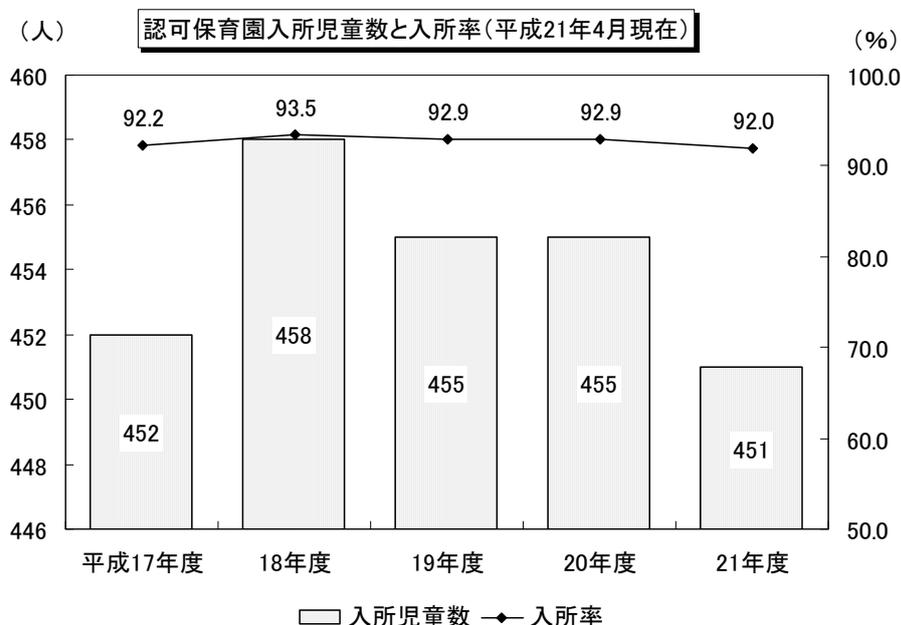


資料：国勢調査

2. 子育て環境の状況

(1) 認可保育園の現状

現在、白石市には8か所の認可保育園があり、1か所あたり平均60名程度の定員となっています。平成21年度までの児童人口は減少していますが、認可保育園への入所児童数は概ね横ばいの推移となっています。



資料: 子ども家庭課

(2) その他の保育サービスの現状

① 地域子育て支援センター事業

本市では、家庭で楽しく安心して子育てができるように、子育ての不安や悩み等の相談体制の充実や、子育てサークルなどへ支援等を目的とした地域子育て支援センターを1か所(活動拠点は、ふれあいプラザ内と南保育園3階の2か所)設置し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行っています。

② ファミリー・サポート・センター事業

本市では1か所(ふれあいプラザ内)設置しています。会員数は、平成20年度には554人と、平成17年度から44人増えており、年々増加していくと考えられます。逆に、援助活動件数は平成17年度には1,663件でしたが、平成20年には1,230件となっており、減少傾向にあります。

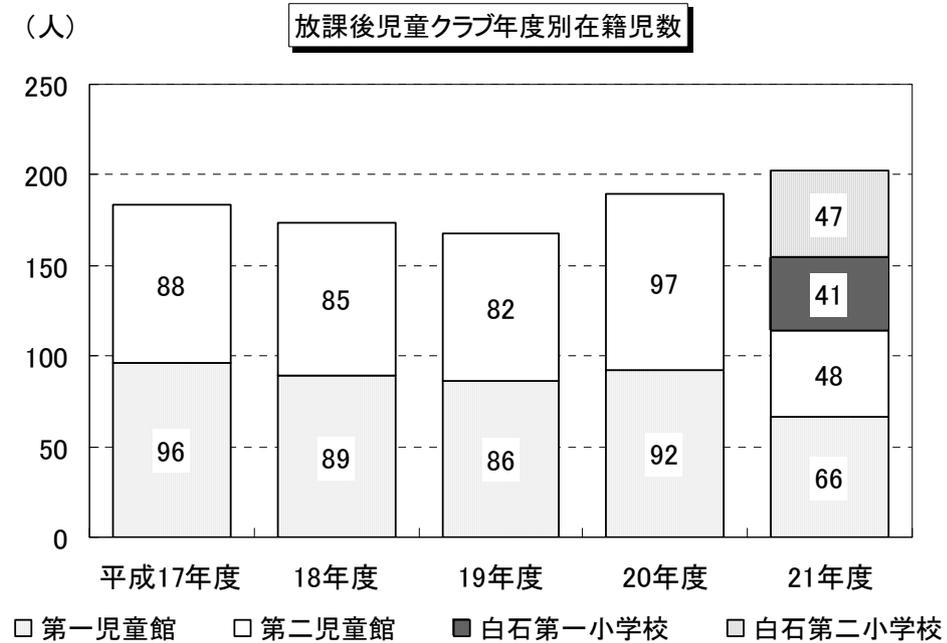
年 度	提供会員数 (累計)	依頼会員数 (累計)	両方会員数 (累計)	総 数 (累計)	援 助 活動件数	1か月平均 (件)
平成17年度	117	329	64	510	1,663	139
平成18年度	124	382	70	576	1,373	114
平成19年度	98	362	57	517	1,177	98
平成20年度	108	387	59	554	1,230	103

資料: 子ども家庭課

3. 放課後児童クラブの現状

現在、白石市には4か所の放課後児童クラブがあります。（平成21年4月1日より2か所増えています。）

平成21年度には4施設あわせて202名の児童が利用しています。



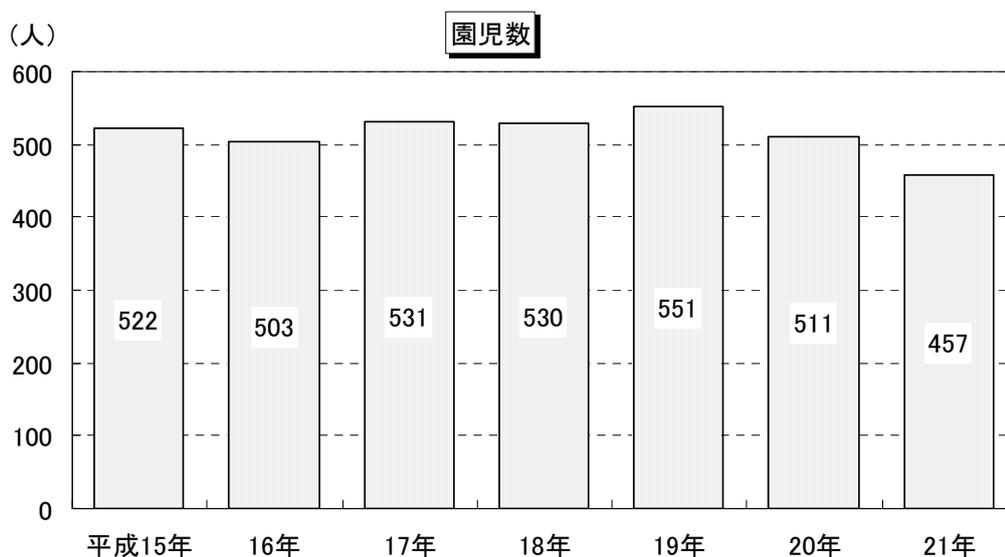
資料：子ども家庭課

4. 教育環境の現状

(1) 幼稚園の概況

現在、白石市には 2 施設の市立幼稚園と 1 施設の私立幼稚園の計 3 施設があります。

園児数は、平成 19 年には 551 人まで増加したが、平成 21 年では 457 人まで減少しています。

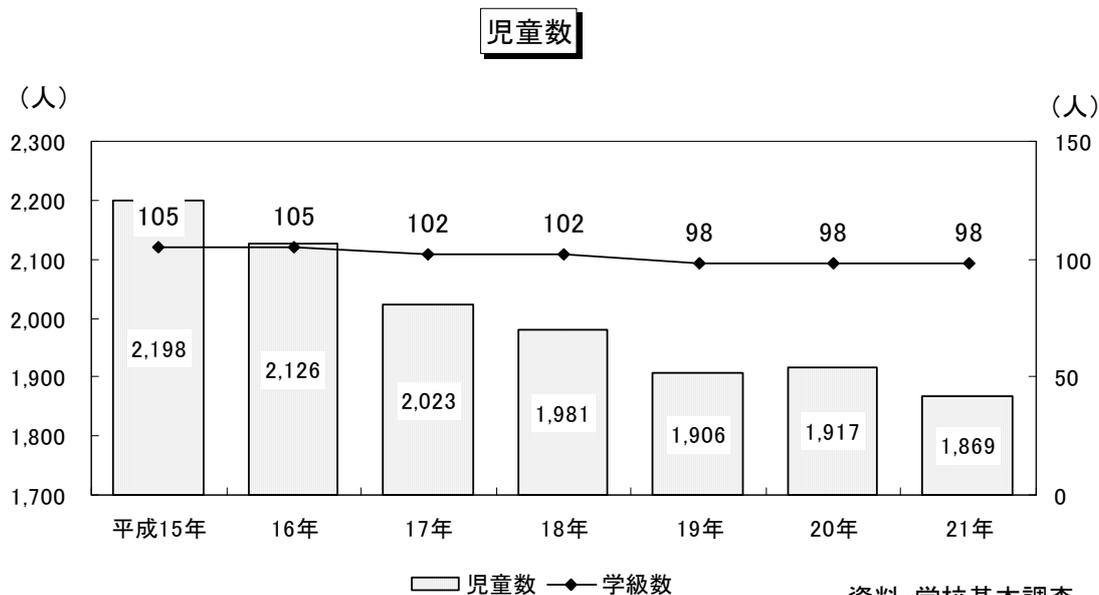


資料: 学校基本調査

(2) 小学校の概況

現在、白石市には 10 校の小学校があります。

学級数、児童数についてみると、いずれも減少傾向にあります。

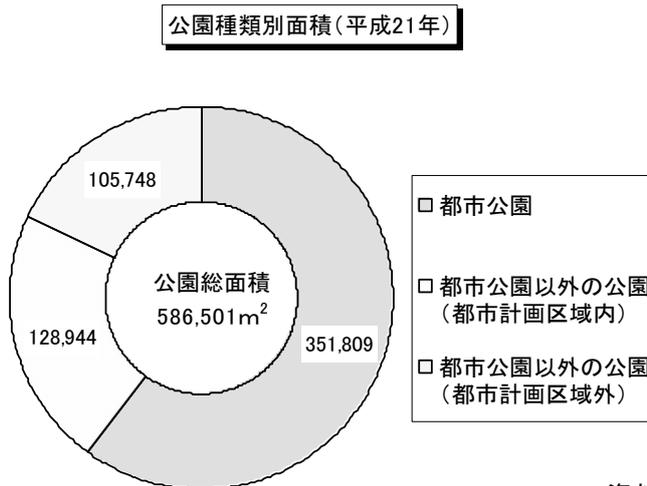
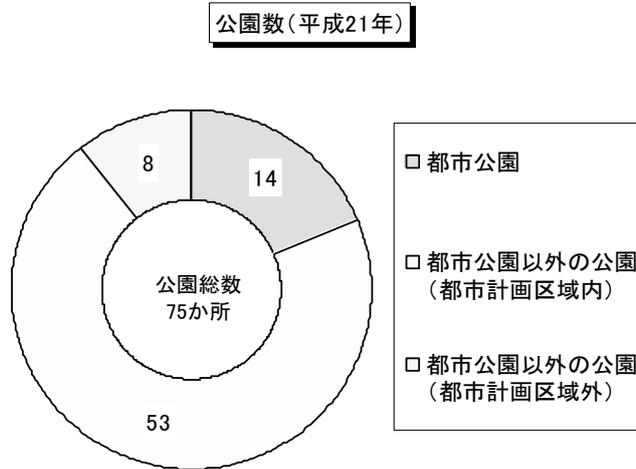


資料: 学校基本調査

5. 子どもと地域社会の関わり

(1) 公園の数と面積

白石市内の公園の総数は 75 か所となっています。公園の面積は都市公園が最も多く、351,809 m²となっています。



資料:都市整備課

(2) 青少年補導の状況

青少年補導の状況については減少の傾向にあり、中でも「ぐ犯不良行為少年件数」は平成 17 年度と比べて約 3 割の件数となっています。

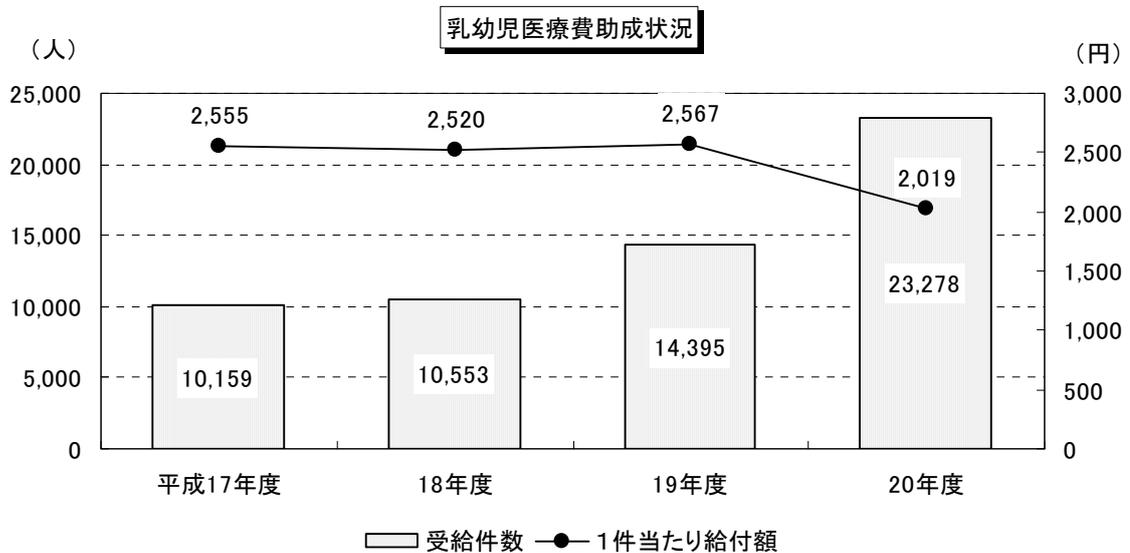
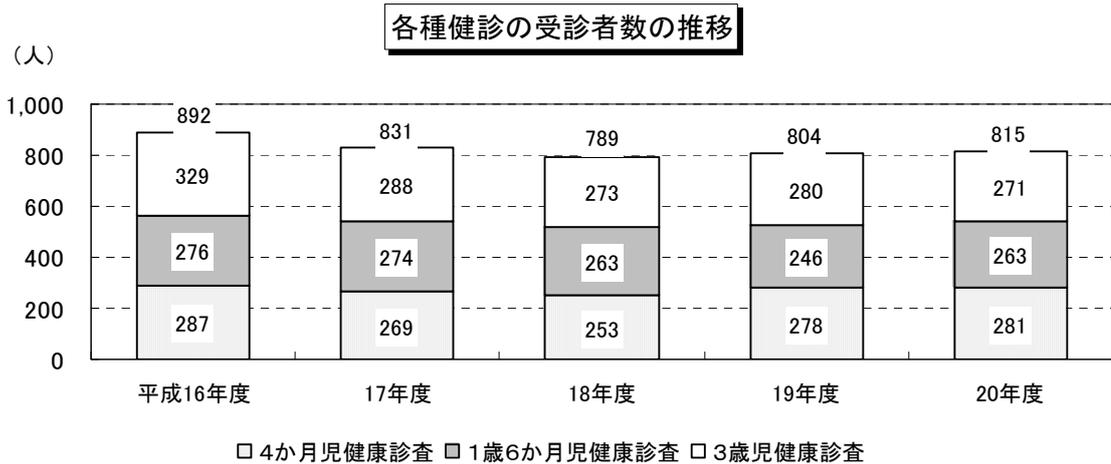
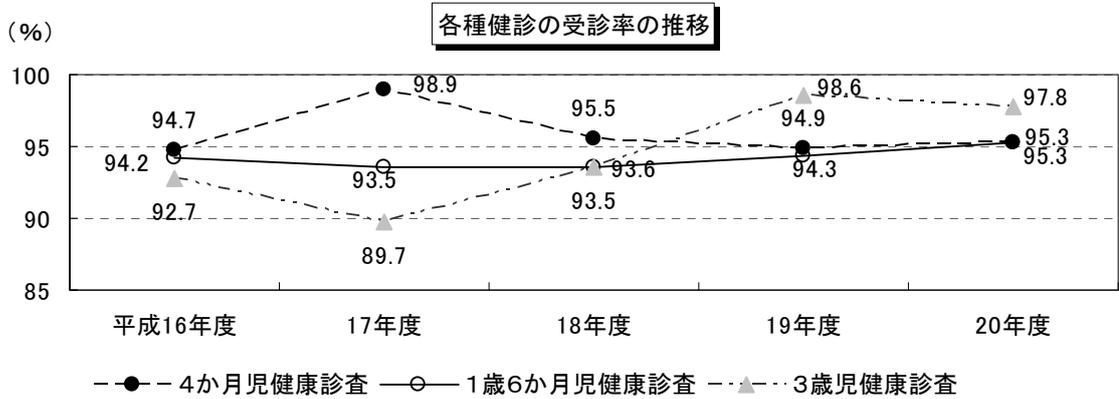
	ぐ犯不良行為少年		触法少年件数		犯罪少年件数		特別法犯少年件数	
	件数	増減	件数	増減	件数	増減	件数	増減
平成 17 年度	423	—	1	—	25	—	1	—
18 年度	181	-242	2	1	19	-6	1	0
19 年度	96	-85	2	0	14	-5	1	0
20 年度	113	17	2	0	13	-1	0	-1

資料:白石警察署

6. 小児医療の現状

各種健診の受診率は、概ね90%以上で推移しています。また、各種健診の受診者数は平成18年度まで減少傾向にありますが、それ以降は増加傾向にあります。

乳幼児医療費助成状況の推移をみると、平成20年度から受給件数が急増していますが、これは、通院について、3歳までの助成が入院と同じ小学校就学前までに対象が拡大されたためです。



資料:健康推進課